

**2 年 次 生**

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名            | 担当講師   |
|----|----------------|--------|
| 春  | プロモーションビデオ制作 I | 中山 章太郎 |

科目概要

映像編集ソフト(プレミア・アフターエフェクト)の基本的な使い方ならびに映像制作全般を学ぶ。

到達目標

映像編集ソフト(プレミア・アフターエフェクト)の基本的な使い方ができる。

授業計画

| 1クォーター | テーマ          | 授業内容                    |
|--------|--------------|-------------------------|
| 第1回    | 映像制作の基礎①     | 今年1年間で行う作業の流れを確認と前年度の復習 |
| 第2回    | 映像制作の基礎②     | プロモーションビデオの基礎を学ぶ        |
| 第3回    | 新しい編集ソフトを学ぶ① | アフターエフェクトの使い方を学ぶ①       |
| 第4回    | 新しい編集ソフトを学ぶ② | アフターエフェクトの使い方を学ぶ②       |
| 第5回    | 実習(編集)①      | 課題となる映像作品の制作。個別指導①      |
| 第6回    | 実習(編集)②      | 課題となる映像作品の制作。個別指導②      |
| 第7回    | 課題の提出        |                         |

クォーター末試験評価方法

出席:70%、提出物:30%

授業Keyword:実際に作品を制作する前に必要な準備段階を身につける。

| 2クォーター | テーマ        | 授業内容                  |
|--------|------------|-----------------------|
| 第1回    | 撮影の基礎知識①   | 撮影に必要な知識を学ぶ           |
| 第2回    | 撮影の基礎知識②   | 撮影に必要な知識を学ぶ           |
| 第3回    | 実習(撮影)     | 課題となる映像作品の制作(グループワーク) |
| 第4回    | 映像編集の基礎知識① | 映像編集に必要な知識を学ぶ         |
| 第5回    | 映像編集の基礎知識② | 映像編集に必要な知識を学ぶ         |
| 第6回    | 実習(編集)①    | 課題となる映像作品の制作(グループワーク) |
| 第7回    | 実習(編集)②    | 課題となる映像作品の制作(グループワーク) |
| 第8回    | 作品提出       | 鑑賞評価                  |

学期末試験評価方法

出席:70%、試験:30%

授業Keyword:映像制作に必要な基本を身につけ、グループごとに1つの作品を完成させ第3者目線で各映像作品を鑑賞・評価

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名           | 担当講師   |
|----|---------------|--------|
| 秋  | プロモーションビデオ制作Ⅱ | 中山 章太郎 |

科目概要

映像編集ソフト(プレミア)の基本的な使い方ならびに映像制作全般を学ぶ。

到達目標

映像編集ソフト(プレミア)の基本的な使い方ができる。

授業計画

| 3クォーター | テーマ  | 授業内容             |
|--------|------|------------------|
| 第1回    | 実習①  | 課題となる映像作品の制作(個人) |
| 第2回    | 実習②  | 課題となる映像作品の制作(個人) |
| 第3回    | 実習③  | 課題となる映像作品の制作(個人) |
| 第4回    | 実習④  | 課題となる映像作品の制作(個人) |
| 第5回    | 実習⑤  | 課題となる映像作品の制作(個人) |
| 第6回    | 実習⑥  | 課題となる映像作品の制作(個人) |
| 第7回    | 作品提出 |                  |

クォーター末試験評価方法

出席:70%、提出物:30%

授業Keyword:個人で数秒程度の映像作品を制作、完成させる

| 4クォーター | テーマ       | 授業内容                 |
|--------|-----------|----------------------|
| 第1回    | 実習(卒業制作)① | 課題となる映像作品の制作、編集。個別指導 |
| 第2回    | 実習(卒業制作)② | 課題となる映像作品の制作、編集。個別指導 |
| 第3回    | 実習(卒業制作)③ | 課題となる映像作品の制作、編集。個別指導 |
| 第4回    | 実習(卒業制作)④ | 課題となる映像作品の制作、編集。個別指導 |
| 第5回    | 実習(卒業制作)⑤ | 課題となる映像作品の制作、編集。個別指導 |
| 第6回    | 実習(卒業制作)⑥ | 課題となる映像作品の制作、編集。個別指導 |
| 第7回    | 実習(卒業制作)⑦ | 課題となる映像作品の制作、編集。個別指導 |
| 第8回    | 作品提出      | 第3者目線で各映像作品を鑑賞・評価    |

学期末試験評価方法

出席:70%、提出物:30%

授業Keyword:数分程度の映像作品を制作、第3者目線で各映像作品を鑑賞・評価

基本的な考え:映像編集の基本を身に付け、授業ではミュージックビジネス従事者としてのポイントを履修優れた提出物よりも出席率に重きをおきます。

MB学科

| 学期 | 科目名       | 担当講師 |
|----|-----------|------|
| 春  | Webデザイン I | 丸山   |

科目概要

ウェブを中心にデザインの考え方や作り方についての解説を行います。また、それに伴い、必要なツール(Illustrator、PhotoShop)などの解説を行います。  
Webサイトの制作を基盤に、アプリケーションの操作からHTML、CSSの基礎についても学びます。

到達目標

ウェブに関する基本的な知識。また、デザインを作成する上での一連の流れを理解し、自分が作成、依頼する際に説明ができるくらいの知識の獲得。

授業計画

| 1クォーター | テーマ                       | 授業内容  |
|--------|---------------------------|---|
| 第1回    | インターネットのマナー、仕組み           | インターネットの基本的な仕組みやマナー、PCの基本的な仕組みなどの話をします。   |
| 第2回    | Illustratorの使い方           | 1年次に学んだIllustratorの復習を兼ねて簡単な課題を作成しつつ、操作の説明をします。   |
| 第3回    | PhotoShopの使い方             | 1年次に学んだPhotoshopの復習を兼ねて簡単な課題を作成しつつ、操作の説明をします。   |
| 第4回    | ホームページを作る上での基礎知識          | ホームページを作る上での基礎知識としてホームページとはどういった仕組みでできているのかの解説をします。                                       |
| 第5回    | ホームページを作ってみる(HTMLとCSSの解説) | まずはホームページを構成しているHTMLとCSSの簡単な解説をします。それに基づき、フォーマットを使って実際にページを作ってみます。                        |
| 第6回    | ホームページを作ってみる(素材を作る)       | ホームページを作る上で必要な素材をPhotoShopやIllustratorを使って作成します。  |
| 第7回    | ホームページを作ってみる(課題の提出)       | 作成したホームページの提出。またそれを掲載するまでの流れ(サーバにアップし公開する)までの手順の解説をします。作成したホームページは一般公開するので、就活などに活用してください。 |

クォーター末試験評価方法

出席、遅刻、授業内での態度(30%)、授業内で出された課題の提出率と評価(35%)、クォーター末課題(35%)

| 2クォーター | テーマ                        | 授業内容   |
|--------|----------------------------|--|
| 第1回    | Illustratorの使い方その2         | ウェブのデザインなどでもIllustratorは使われます。細かな設定や画像などの処理について学びます。自由曲線や文字を変形してロゴデザインを作成してみましょう。    |
| 第2回    | Photoshopの使い方その2           | 写真に対しての画像処理を学びましょう。色や明るさの調節、合成、修正などPhotoshopのできることを大まかに解説します。                        |
| 第3回    | 良いデザインとは？                  | デザインとは伝える技術です。ただ漠然と画像、文章を並べるのではなく、伝えたいものの優先順位などを考えてレイアウトしていきます。デザインについての基本的な解説を行います。 |
| 第4回    | 紙とウェブの違い                   | 紙とウェブのデザインはデータを作成する段階で違いがあります。その違いについての解説をします。                                       |
| 第5回    | ウェブの深堀(HTMLとCSS)           | HTMLとCSSというWebデザインの基礎を解説します。   |
| 第6回    | ウェブの深堀(HTMLとCSS)           | HTMLとCSSというWebデザインの基礎を解説します。   |
| 第7回    | ウェブの深堀(HTMLとCSS)とウェブライティング | HTMLとCSSというWebデザインの基礎を解説します。またウェブのライティングについての考え方についての解説をします。                         |
| 第8回    | 1ページもののウェブサイトの作成           | デザイン、レイアウトなどを考えながらHTML、CSSで1ページもののホームページを作成し、提出。                                     |

学期末試験評価方法

出席、遅刻、授業内での態度(30%)、授業内で出された課題の提出率と評価(35%)、クォーター末課題(35%)

## MB学科

| 学期 | 科目名      | 担当講師 |
|----|----------|------|
| 秋  | WebデザインⅡ | 丸山   |

## 科目概要

引き続き春学期の授業を元に、ウェブサービスを作成する流れについて解説をします。またそれを拡散するための方法やツールなどの解説も織り交ぜて行きます。内容は各自のスキルやスケジュールによって流動的に変更される場合があります。

## 到達目標

ウェブは作成するだけで終わりではありません。そこからその情報を以下に拡散するか？の一連の流れを理解、説明できるレベルを目標とする。

## 授業計画

| 3クォーター | テーマ               | 授業内容   |
|--------|-------------------|--|
| 第1回    | Webデザインと拡散        | そもそもホームページはなぜ作るのか？またできたものはどう広げていくのか？という話を、SNSやCMS、ECサイトの話を終めながら解説します。                    |
| 第2回    | Googleの様々なツールについて | ページは作っただけでは意味がありません。googleにはそれらを確認するツールが様々あります。google analyticsの見方やSeach Consoleの解説をします。 |
| 第3回    | ビジネスで使えるウェブのツール   | google以外にもビジネスに使えるツールが様々あります。それについての解説をします。また、メールの設定やドメイン、サーバについての解説をします。                |
| 第4回    | Wordpressとは何か？    | CMSの代表的なツールとしてWordpressが挙げられます。無料で使えカスタマイズが自在な人気のツールの解説をします。                             |
| 第5回    | Wordpressの使い方     | Wordpressの使い方について解説します。  |
| 第6回    | フレックスデザインという考え方   | Webのデザインは今、モバイルを重点としたデザインになっています。それについての解説をします。  |
| 第7回    | フレックスデザインのWebサイト  | フレックスデザインに基づいた、簡単なWebサイトを作成、提出。  |

## クォーター末試験評価方法

出席、遅刻、授業内での態度(30%)、授業内で出された課題の提出率と評価(35%)、クォーター末課題(35%)

| 4クォーター | テーマ                         | 授業内容   |
|--------|-----------------------------|--|
| 第1回    | 第1回目の授業テーマこれまで学習したことのまとめと復習 | 年間を通して学んできたことの内容のまとめと復習についての話です。それを元にし卒業制作への課題に取り組んでいただきます。          |
| 第2回    | 卒業制作課題の企画書作り                | 最終的にWebサイト一つ作成していただきます。そのサイトの企画書を作成していただきます。その際にサイトの拡散方法なども考えてもらいます。 |
| 第3回    | 卒業制作                        | 企画書に基づいたWebサイトの作成。   |
| 第4回    | 卒業制作                        | 企画書に基づいたWebサイトの作成。   |
| 第5回    | 卒業制作                        | 企画書に基づいたWebサイトの作成。   |
| 第6回    | 卒業制作                        | 企画書に基づいたWebサイトの作成。   |
| 第7回    | 卒業制作                        | 企画書に基づいたWebサイトの作成。   |
| 第8回    | 卒業制作                        | 企画書に基づいたWebサイトの作成。できたサイトの提出。   |

## 学期末試験評価方法

出席、遅刻、授業内での態度(30%)、授業内で出された課題の提出率と評価(35%)、クォーター末課題(35%)

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名          | 担当講師   |
|----|--------------|--------|
| 春  | ビジネスイングリッシュⅢ | 富沢 みずき |

科目概要

ビジネスにおけるスピーキングとリスニングの2つのスキルに焦点をあてて学びます。会社紹介、仕事内容紹介。電話の掛け方等、ビジネスシーンで使う英語を学びます。

到達目標

ビジネスシーンのリスニングに慣れ、適切な英語でコミュニケーションをとれるようになることが目標です。

授業計画

| 1クォーター | テーマ                            | 授業内容                      |
|--------|--------------------------------|---------------------------|
| 第1回    | Introducing People             | テキストの使い方や自己紹介をします。        |
| 第2回    | Introducing People             | 丁寧な挨拶や職種紹介をします。           |
| 第3回    | Describing companies           | 会社紹介をします。                 |
| 第4回    | Describing companies           | 会社紹介をします。                 |
| 第5回    | Having telephone conversations | 仕事での電話のかけ方を練習します。         |
| 第6回    | Having telephone conversations | 仕事での電話のかけ方を練習します。         |
| 第7回    | Presentation                   | 与えられたトピックでプレゼンテーションを行います。 |

クォーター末試験評価方法

出席点30%、平常点40%、発表点30%  
 評価は、授業態度、イントネーションや発音、英語表現を覚え相手に伝えようとする姿勢を重要視します。

| 2クォーター | テーマ                           | 授業内容                                  |
|--------|-------------------------------|---------------------------------------|
| 第1回    | Describing occupations        | 仕事内容について話します。                         |
| 第2回    | Describing occupations        | 仕事内容について話します。                         |
| 第3回    | Describing time and schedules | 勤務時間や予定を話します。                         |
| 第4回    | Describing time and schedules | 勤務時間や予定を話します。                         |
| 第5回    | Making small talk             | 仕事を円滑に進めるための世間話をします。                  |
| 第6回    | Making small talk             | 仕事を円滑に進めるための世間話をします。                  |
| 第7回    | Review                        | 今まで学習したことを復習し、プレゼンテーションの準備をします。       |
| 第8回    | Presentation                  | 外国人の先生との会話や、与えられたトピックでプレゼンテーションを行います。 |

学期末試験評価方法

出席点30%、平常点40%、発表点30%  
 評価は、授業態度、イントネーションや発音、英語表現を覚え相手に伝えようとする姿勢を重要視します。

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名          | 担当講師   |
|----|--------------|--------|
| 秋  | ビジネスイングリッシュⅣ | 富沢 みずき |

科目概要

ビジネスにおけるスピーキングとリスニングの2つのスキルに焦点をあてて学びます。会社紹介、仕事内容紹介。電話の掛け方等、ビジネスシーンで使う英語を学びます。

到達目標

ビジネスシーンのリスニングに慣れ、適切な英語でコミュニケーションをとれるようになることが目標です。

授業計画

| 3クォーター | テーマ                        | 授業内容                      |
|--------|----------------------------|---------------------------|
| 第1回    | Working with large numbers | 大きな数字をスムーズに言えるよう練習します。    |
| 第2回    | Working with large numbers | 大きな数字をスムーズに言えるよう練習します。    |
| 第3回    | Describing past work       | 過去の出来事について話します。           |
| 第4回    | Describing past work       | 過去の出来事について話します。           |
| 第5回    | Explaining procedures      | 作業手順を説明します。               |
| 第6回    | Explaining procedures      | 作業手順を説明します。               |
| 第7回    | Presentation               | 与えられたトピックでプレゼンテーションを行います。 |

クォーター末試験評価方法

出席点30%、平常点40%、発表点30%  
評価は、授業態度、イントネーションや発音、英語表現を覚え相手に伝えようとする姿勢を重要視します。

| 4クォーター | テーマ                     | 授業内容                                  |
|--------|-------------------------|---------------------------------------|
| 第1回    | Describing location     | 場所を伝える言い方を練習します。                      |
| 第2回    | Describing location     | 場所を伝える言い方を練習します。                      |
| 第3回    | Describing food         | 食べ物について話します。                          |
| 第4回    | Describing food         | 食べ物について話します。                          |
| 第5回    | Describing future plans | 未来の計画について話します。                        |
| 第6回    | Describing future plans | 未来の計画について話します。                        |
| 第7回    | Review                  | 今まで学習したことを復習し、プレゼンテーションの準備をします。       |
| 第8回    | Presentation            | 外国人の先生との会話や、与えられたトピックでプレゼンテーションを行います。 |

学期末試験評価方法

出席点30%、平常点40%、発表点30%  
評価は、授業態度、イントネーションや発音、英語表現を覚え相手に伝えようとする姿勢を重要視します。

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名         | 担当講師  |
|----|-------------|-------|
| 春  | アプリプロデュース I | 相澤謙一郎 |

科目概要

これからのエンタテインメントに欠かせない、アプリケーションの開発技術の基本と企画の考え方、商品化(リリース)のノウハウなどを実際の開発作業を通して学ぶ。

到達目標

プログラミングの基本を学び、簡易なスマートフォンアプリケーションの企画立案、開発をすることができるようになる。

授業計画

| 1クォーター | テーマ     | 授業内容                  |
|--------|---------|-----------------------|
| 第1回    | アプリの基礎  | スマートフォンアプリの市場や可能性について |
| 第2回    | X-code  | 開発環境に触れる              |
| 第3回    | 楽器アプリ   | 楽器アプリの開発を体験           |
| 第4回    | ゲームアプリ① | ゲームアプリの開発を体験          |
| 第5回    | ゲームアプリ② | ゲームアプリの開発を体験          |
| 第6回    | 企画書の作り方 | 企画書を作成                |
| 第7回    | 企画書提出   | 企画書を提出し、評価を受ける        |

クォーター末試験評価方法

平常点50%、課題50%。  
欠席1回につきマイナス3点。

| 2クォーター | テーマ  | 授業内容             |
|--------|------|------------------|
| 第1回    | リサーチ | これから需要があるアプリを調べる |
| 第2回    | 企画   | リサーチを基に企画を考える    |
| 第3回    | 制作   | 企画を基に制作を行う       |
| 第4回    | 制作   | 企画を基に引き続き制作を行う   |
| 第5回    | 修正   | 動きや画面を確認しながら修正   |
| 第6回    | 制作   | 企画を基に引き続き制作を行う   |
| 第7回    | 制作   | 企画を基に引き続き制作を行う   |
| 第8回    | 発表   | 企画書と、アプリプログラムを提出 |

学期末試験評価方法

平常点50%、課題50%。  
欠席1回につきマイナス3点。



ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名        | 担当講師  |
|----|------------|-------|
| 秋  | アプリプロデュースⅡ | 相澤謙一郎 |

科目概要

スマホアプリだけでなく、ロボットのアプリ開発にも取り組む

到達目標

ロボットアプリ開発の基本を学び、簡易なロボットアプリの開発、ロボットの操作をすることができるようになる。

授業計画

| 3クォーター | テーマ      | 授業内容             |
|--------|----------|------------------|
| 第1回    | ロボットの基礎  | ロボットには、何が出来るのか   |
| 第2回    | ロボアプリSDK | 開発キットに触れる        |
| 第3回    | 簡単なアプリ   | 簡単なアプリをプログラムしてみる |
| 第4回    | 簡単なアプリ   | 少し高度なプログラム       |
| 第5回    | 企画書      | アプリの企画書を考える      |
| 第6回    | 修正       | 企画の問題点を洗い出し      |
| 第7回    | 企画書提出    | 企画書を提出し、評価を受ける   |

クォーター末試験評価方法

平常点50%、課題50%。  
欠席1回につきマイナス3点。

| 4クォーター | テーマ  | 授業内容             |
|--------|------|------------------|
| 第1回    | リサーチ | これから需要があるアプリを調べる |
| 第2回    | 企画   | リサーチを基に企画を考える    |
| 第3回    | 制作   | 企画を基に制作を行う       |
| 第4回    | 制作   | 企画を基に引き続き制作を行う   |
| 第5回    | 修正   | 動きや画面を確認しながら修正   |
| 第6回    | 制作   | 企画を基に引き続き制作を行う   |
| 第7回    | 制作   | 企画を基に引き続き制作を行う   |
| 第8回    | 発表   | 企画書と、アプリプログラムを提出 |

学期末試験評価方法

平常点50%、課題50%。  
欠席1回につきマイナス3点。

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名               | 担当講師 |
|----|-------------------|------|
| 春  | A&R論 I (世界のA&R I) | 渡辺博  |

科目概要

イギリスからアメリカへと渡った民謡をもとに、世界のポピュラーソングが生まれた。その歴史を音を聴きながら辿っていく。時代や世相によって変わっていく音楽。歌詞と曲、歌い手の三面で解説を進めていく。春学期はイギリス民謡がアメリカに渡り、ロックンロールが若者の音楽として確立するまでとする。

到達目標

ロックンロールが誕生するまでのさまざまな音楽知識・・・アーティストや作品を身につけてもらいます。

授業計画

| 1クォーター | テーマ                        | 授業内容   |
|--------|----------------------------|--|
| 第1回    | オリエンテーションと学生の自己紹介          | 講師と学生全員の自己紹介。本授業の今後の内容、および評価についての説明。                                 |
| 第2回    | スコットランドとアイルランド、そしてイングランド#1 | ポピュラーソングの原点であるスコットランドとアイルランド民謡さらにイングランド民謡を学びます。「Danny Boy」ほか。        |
| 第3回    | スコットランドとアイルランド、そしてイングランド#2 | ポピュラーソングの原点であるスコットランドとアイルランド民謡さらにイングランド民謡を学びます。「Auld Lang Syne」ほか。   |
| 第4回    | 英国からアメリカ大陸へ                | アメリカン・ミュージックのルーツとその時代背景を学びます。「Barbara Allen」ほか。                      |
| 第5回    | アメリカン・ミュージックの成立            | アメリカン・ミュージックのルーツとその時代背景を学びます。フォークソング、カントリーミュージックの魅力って? 「500miles」ほか。 |
| 第6回    | もうひとつのアメリカン・ミュージック         | ジャズの誕生とポピュラーソングの発展。「Moon River」ほか。                                   |
| 第7回    | テスト                        | 筆記試験。  |

クォーター末試験評価方法

出席率15%、授業態度15%、試験70%

| 2クォーター | テーマ                   | 授業内容  |
|--------|-----------------------|---|
| 第1回    | ロックンロールの誕生            | ロックンロールが世界を変えた。その楽曲は? アーティストは? Elvis Presleyほか。 |
| 第2回    | POPS、FOLK、SOULへの新展開#1 | 50'sから60'sのPOPSを知る。Carol Kingほか。                |
| 第3回    | POPS、FOLK、SOULへの新展開#2 | 50'sから60'sのFOLKを知る。#1 「天使のハンマー」ほか。              |
| 第4回    | POPS、FOLK、SOULへの新展開#3 | 50'sから60'sのFOLKを知る。#2 「花はどこへ行った」ほか。             |
| 第5回    | POPS、FOLK、SOULへの新展開#4 | 50'sから60'sのSOULを知る。#1 James Brownほか。            |
| 第6回    | POPS、FOLK、SOULへの新展開#5 | 50'sから60'sのSOULを知る。#2 Sam Cookeほか。              |
| 第7回    | マーギー・ビート~ビートルズの登場#1   | ビートルズが生まれた音楽的背景と時代背景を解説します。The Holliesほか。       |
| 第8回    | テスト                   | 筆記試験。   |

学期末試験評価方法

出席率15%、授業態度15%、試験70%

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名            | 担当講師 |
|----|----------------|------|
| 秋  | A&R論Ⅱ(世界のA&RⅡ) | 渡辺博  |

科目概要

秋学期はイギリスとアメリカのポップミュージックの変遷。ビートルズの登場、そしてボブ・ディランの登場。ロックがどうやって生まれたのか。1970年代以降のポップミュージックの多様性を、音と映像によって検証していきます。

到達目標

ビートルズ以降、多様化し、進化してきたポップスやロックがを体感し、知識を身につけてもらいます。

授業計画

| 3クォーター | テーマ                 | 授業内容  |
|--------|---------------------|---|
| 第1回    | マーシー・ビート~ビートルズの登場#2 | ビートルズが生まれた音楽的背景と時代背景。「Please Please Me」ほか。                    |
| 第2回    | ビートルズのすべて#1         | イギリスBBC製作のドキュメント映像を鑑賞、解説。#1                                   |
| 第3回    | ビートルズのすべて#2         | イギリスBBC製作のドキュメント映像を鑑賞、解説。#2                                   |
| 第4回    | プリティッシュ・インベイジョン#1   | イギリスのロックがアメリカに大きな影響を与えた、その詳細を体感します。ソウル・ミュージック編。マービン・ゲイほか。     |
| 第5回    | プリティッシュ・インベイジョン#2   | イギリスのロックがアメリカに大きな影響を与えた、その詳細を体感します。フォーク、アメリカン・ロック編。ボブ・ディランほか。 |
| 第6回    | ロックの時代へ#1           | フラワー・ムーブメントと呼ばれる時代...どのような音楽が生まれたのか？ The Beach Boysほか。        |
| 第7回    | ロックの時代へ#2           | ウッドストックの野外イベントの成功とその後のミュージック・シーンに与えた影響は？ ジミヘンほか。              |

クォーター末試験評価方法

出席率50%、授業態度50%

| 4クォーター | テーマ                               | 授業内容   |
|--------|-----------------------------------|--|
| 第1回    | ポスト・ビートルズのイギリス#1                  | 70'sのイギリスのミュージック・シーン。60年代の音楽がどのように進化したのか？ #1 Queenほか。              |
| 第2回    | ポスト・ビートルズのイギリス#2                  | 70'sのイギリスのミュージック・シーン。60年代の音楽がどのように進化したのか？ #2 Pink Floydほか。         |
| 第3回    | ポスト・ビートルズのアメリカ#1                  | 70'sのアメリカのミュージック・シーン。60年代の音楽がどのように進化したのか？ ウェスト・コースト編 The Eaglesほか。 |
| 第4回    | ポスト・ビートルズのアメリカ#2                  | 70'sのアメリカのミュージック・シーン。60年代の音楽がどのように進化したのか？ イースト・コースト編 Billy Joelほか。 |
| 第5回    | ポスト・ビートルズのアメリカ#3                  | 70'sのアメリカのミュージック・シーン。60年代の音楽がどのように進化したのか？ 総集編 Bruce Springsteenほか。 |
| 第6回    | ローリング・ストーン誌が選ぶ世界で最も偉大なアーティスト100#1 | 授業の総まとめ。トップ20に名を連ねるアーティストは誰？                                       |
| 第7回    | ローリング・ストーン誌が選ぶ世界で最も偉大なアーティスト100#2 | 授業の総まとめ。トップ20に名を連ねるアーティストは誰？                                       |
| 第8回    | テスト                               | 筆記試験。  |

学期末試験評価方法

出席率15%、授業態度15%、試験70%

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名         | 担当講師   |
|----|-------------|--------|
| 春  | ライブ&コンサート I | 竹之内 康弘 |

科目概要

音楽業界におけるライブハウスの持つ役割・業種を知ってもらいます。まずは、その魅力を体感し、基礎知識を学んでいきます。

到達目標

コンサートに必要な基礎知識を習得、資料作成を中心に全員の内容をチェックします

授業計画

| 1クォーター | テーマ           | 授業内容                      |
|--------|---------------|---------------------------|
| 第1回    | 挨拶/ライブハウスの役割① | 自己紹介と共に音楽業界でのライブハウスの役割を説明 |
| 第2回    | 挨拶/ライブハウスの役割② | 自己紹介と共に音楽業界でのライブハウスの役割を説明 |
| 第3回    | ライブとコンサート①    | ライブ必要書類の解説                |
| 第4回    | ライブとコンサート②    | ライブ必要書類の解説                |
| 第5回    | コンサートの1日①     | 本番日のスケジュール作成とその準備を追う      |
| 第6回    | コンサートの1日②     | 本番日のスケジュール作成とその準備を追う      |
| 第7回    | 課題            | ライブハウスレポート提出              |

クォーター末試験評価方法

まずはライブハウスやホールがどういうものなのかを知り、体感して魅力を感じてもらいたい。今後の細かい部分を知るためにも基礎知識を学んでいきます。出席数と授業態度、積極性を重視します。

| 2クォーター | テーマ          | 授業内容                            |
|--------|--------------|---------------------------------|
| 第1回    | ライブハウスの音響①   | 実際に使っている機材を見ながらシステムを知る          |
| 第2回    | ライブハウスの音響②   | 実際に使っている機材を見ながらシステムを知る          |
| 第3回    | ライブハウスの照明①   | 照明を実際に操作し、機材について知る              |
| 第4回    | ライブハウスの照明②   | 照明を実際に操作し、機材について知る              |
| 第5回    | ライブハウスのステージ① | ライブハウスの仕組み。実際にステージに上がって機材の扱いを知る |
| 第6回    | ライブハウスのステージ② | ライブハウスの仕組み。実際にステージに上がって機材の扱いを知る |
| 第7回    | 筆記試験         | 筆記試験                            |
| 第8回    | 筆記試験         | 筆記試験                            |

学期末試験評価方法

ライブハウスの形態、機材など実際に営業していく流れを知ってもらいます。出席数と授業態度、理解度を重視します。

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名        | 担当講師   |
|----|------------|--------|
| 秋  | ライブ&コンサートⅡ | 竹之内 康弘 |

科目概要

春学期で学んだ知識、体験をもとに、さらに深くライブハウス・コンサートの仕事を学んでいきます。

到達目標

ステージ周辺機材の扱いを習得する。  
音響・照明・楽器類の実践的な作業体験をする。

授業計画

| 3クォーター | テーマ          | 授業内容                |
|--------|--------------|---------------------|
| 第1回    | 舞台の設定準備①     | セットリストの作成と舞台セット図の再現 |
| 第2回    | 舞台の設定準備②     | セットリストの作成と舞台セット図の再現 |
| 第3回    | ライブの進行①      | 実際にバンドを呼んでリハーサルを再現  |
| 第4回    | ライブの進行②      | 実際にバンドを呼んでリハーサルを再現  |
| 第5回    | ライブハウスのステージ① | 学生自身で1からステージの設営をする  |
| 第6回    | ライブハウスのステージ② | 学生自身で1からステージの設営をする  |
| 第7回    | 課題           | 企画書提出               |

クォーター末試験評価方法

ライブハウスでの授業の利点を生かし、実際に機材を使い、理解する。最も大事なステージ作りについて細かく掘り下げて学んでいく。出席数と授業態度、積極性を重視します。

| 4クォーター | テーマ           | 授業内容                  |
|--------|---------------|-----------------------|
| 第1回    | ステージ機材の作動①    | ステージからの視点でライブを理解する    |
| 第2回    | ステージ機材の作動②    | ステージからの視点でライブを理解する    |
| 第3回    | ステージ機材の作動③    | ステージを設定して照明を効果的に使用する  |
| 第4回    | ステージ機材の作動④    | ステージを設定して照明を効果的に使用する  |
| 第5回    | イベントシュミレーション① | ステージパフォーマンスと照明演出を体感する |
| 第6回    | イベントシュミレーション② | ステージパフォーマンスと照明演出を体感する |
| 第7回    | 筆記試験          | 筆記試験                  |
| 第8回    | 筆記試験          | 筆記試験                  |

学期末試験評価方法

今後の音楽業界での仕事において、ライブハウスでの経験をどう生かしていくかを理解する。出席数と授業態度、理解度を重視する。

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名           | 担当講師 |
|----|---------------|------|
| 春  | アーティストマネジメントⅠ | 脇田 敬 |

科目概要

実際的なマネジメントは、制作、宣伝、営業から心理的なものまで、全てに関わり、アーティストの命運を握る重要な仕事です。ジャンルや会社、人、規模によって、その仕事内容は変わります。それでも、一言で言う、その仕事内容は「アーティストのパートナーとなり、アーティスト、曲を売る」ことです。この考え方と、役立つ情報や知識を学びましょう。

到達目標

マネジメントについて、基本的な考え方を理解し、現場での仕事内容を知る用語を覚える

授業計画

| 1クォーター | テーマ       | 授業内容                  |
|--------|-----------|-----------------------|
| 第1回    | 授業概要      | 新しい時代のアーティストマネジメントとは  |
| 第2回    | 音楽ビジネス論   | 音楽ビジネスとは？ヒットとブレイクを作る。 |
| 第3回    | 業界の仕組みを知る | レコード会社、プロダクション、音楽出版社  |
| 第4回    | プランニング    | ヒットとブレイクを時系列でプランする    |
| 第5回    | 現場①       | 音源制作におけるマネジメントの仕事①    |
| 第6回    | 現場②       | 音源制作におけるマネジメントの仕事②    |
| 第7回    | 筆記試験      |                       |

クォーター末試験評価方法

マネジメントの現場の実務を理解。ヒット、ブレイクに繋がる要素を理解する。  
出席、授業態度30% 提出物20% 筆記試験50%

| 2クォーター | テーマ          | 授業内容                |
|--------|--------------|---------------------|
| 第1回    | 現場③          | ライブ現場におけるマネジメントの仕事① |
| 第2回    | 現場④          | ライブ現場におけるマネジメントの仕事② |
| 第3回    | ヒットとブレイクの要素① | 音楽性                 |
| 第4回    | ヒットとブレイクの要素② | パーソナリティ             |
| 第5回    | ヒットとブレイクの要素③ | 数字                  |
| 第6回    | ヒットとブレイクの要素④ | コンセプト               |
| 第7回    | マネジメント力      | マネージャーに求められる4つの力    |
| 第8回    | 筆記試験         |                     |

学期末試験評価方法

現場での役割とアーティストを売るために必要な仕事についての理解  
出席、授業態度30% 提出物20% 筆記試験50%

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名           | 担当講師 |
|----|---------------|------|
| 秋  | アーティストマネジメントⅡ | 脇田 敬 |

科目概要

PC、ネット、スマホ、、、テクノロジーによって、全世界的な変革が進む激動の時代。かつて、音楽の販売はCDレコードショップのみ、メディア媒体はTV、ラジオ、紙。これらは有料で購入するかスポンサーが提供するかのどちらかでした。その図式は大きく崩れ、現在、既存の業界の仕組みと新しい大量情報の混ざり合った状況の中にいます。新旧両方を知ることで、現在の音楽ビジネスを知ることになります。

到達目標

音楽ビジネスに不可欠な楽曲のヒット・アーティストのブレイクを達成するための意欲とスキルを育てる

授業計画

| 3クォーター | テーマ          | 授業内容      |
|--------|--------------|-----------|
| 第1回    | 宣伝とマネジメント①   | 媒体①TV     |
| 第2回    | 宣伝とマネジメント②   | 媒体①ラジオ    |
| 第3回    | 宣伝とマネジメント③   | 媒体③紙、文章   |
| 第4回    | 宣伝とマネジメント④   | 媒体④ネット    |
| 第5回    | 紙資料・ニュースリリース | 文章と画像で伝える |
| 第6回    | 音源販売・FC・グッズ  | いかに売り上げるか |
| 第7回    | クォーター末試験     |           |

クォーター末試験評価方法

宣伝・販売においてマネジメントが何をするかの理解  
出席、授業態度30% 提出物20% 筆記試験50%

| 4クォーター | テーマ            | 授業内容                  |
|--------|----------------|-----------------------|
| 第1回    | マネジメント力応用      | マネジメント力でヒットとブレイクを創る   |
| 第2回    | 契約             | マネジメント契約、お金関係         |
| 第3回    | 変化するマネタイズ      | 無料と有料について             |
| 第4回    | トラブル対処         | 解散・活休・脱退・引退・スキャンダル等   |
| 第5回    | 業界事情           | レコード会社、プロダクションの成り立ち   |
| 第6回    | 楽器の進化          | テクノロジーが変える音楽コミュニケーション |
| 第7回    | アーティストマネジメント総括 | マネジメントとは何か            |
| 第8回    | 学期末試験          |                       |

学期末試験評価方法

音楽ビジネスを理解し、アーティストを売るためのマネジメントの役割の理解  
出席、授業態度30% 提出物20% 筆記試験50%

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名         | 担当講師  |
|----|-------------|-------|
| 春  | フリーペーパー編集 I | 元生 真由 |

科目概要

インタビュー、ディスクレビュー、ライブ・レポートなど雑誌を構成するさまざまな文章を書く能力を身につけ、簡単な校正も覚えます。  
また、アーティストのインタビュー現場を実際に体験します。

到達目標

- ・読む相手に応じた文章、書類の作成能力を身につける。
- ・インタビュー原稿の執筆、インタビューページの構成をする。

授業計画

| 1クォーター | テーマ        | 授業内容                          |
|--------|------------|-------------------------------|
| 第1回    | オリエンテーション  | この講義で学ぶこと、校正記号について            |
| 第2回    | 情報を提供できる文章 | 雑誌のしくみ、雑誌を構成する文章を研究           |
| 第3回    | 原稿書きと校正①   | プロフィール紹介文を書き校正記号を使って推敲        |
| 第4回    | 原稿書きと校正②   | ディスクレビューを書き校正記号を使って推敲         |
| 第5回    | 原稿書き       | ライブ・レポートを書く                   |
| 第6回    | 紙資料の作成①    | 各社のCD宣伝用紙資料を比較・研究し、自作紙資料の作成開始 |
| 第7回    | 紙資料の作成②    | 1Qで書いた原稿も使用し、紙資料を作成して提出       |

クォーター末試験評価方法

第1クォーターでは、  
出欠および平常点30%、授業ごとの文章40%、Q末試験30%。

| 2クォーター | テーマ         | 授業内容                   |
|--------|-------------|------------------------|
| 第1回    | インタビュー概論    | 取材の流れやポイント、執筆、入稿方法の確認  |
| 第2回    | アポイントと打ち合わせ | アポイント、打ち合わせ、取材関係の実務    |
| 第3回    | インタビュー準備①   | アーティスト研究               |
| 第4回    | インタビュー準備②   | インタビュー内容を考える、役割分担      |
| 第5回    | インタビュー準備③   | 質問のブラッシュアップ、流れの確認      |
| 第6回    | 校内インタビュー    | アーティストを学校に招いてのインタビュー   |
| 第7回    | 文字起こし       | 録音した会話を文字に起こす          |
| 第8回    | 原稿提出による試験   | インタビュー原稿を書き、A4一頁にまとめ提出 |

学期末試験評価方法

第2クォーターでは、アーティストへのインタビューを行います。  
原稿を完成させ、A4サイズでインタビュー頁を作成。その内容で評価します。



ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名        | 担当講師  |
|----|------------|-------|
| 秋  | フリーペーパー編集Ⅱ | 元生 真由 |

科目概要

編集者やライターになる人以外にも応用できる、読む人を意識した文章を書く力を身につけ言葉でのプレゼン能力を高めます。

最終クォーターでは、一年間で学んだ知識を使いオリジナル・フリーペーパーを作成します。

到達目標

客観的な視点を持った文章・正しい日本語で、自分の意見や提案を書ける。

予定に沿って毎時間の課題を仕上げ、時間をかけて制作する際に自分に必要なものを理解する。

授業計画

| 3クォーター | テーマ      | 授業内容                 |
|--------|----------|----------------------|
| 第1回    | 雑誌構成     | 雑誌が作られる過程、台割、判型を理解する |
| 第2回    | 原稿書き     | コラムを書く(フリーペーパー用)     |
| 第3回    | 原稿書き     | 紹介文を書く(フリーペーパー用)     |
| 第4回    | ラフ作成     | 12頁分の大まかなラフを作成する     |
| 第5回    | 頁ごとのラフ作成 | 各頁ごとに、細かいラフを作成する     |
| 第6回    | 原稿を書く①   | フリーペーパー用の原稿を書く       |
| 第7回    | 原稿を書く②   | フリーペーパー用の原稿を書く       |

クォーター末試験評価方法

第3クォーターでは、出欠および平常点30%、授業ごとの提出物70%、Q末試験は無し。

| 4クォーター | テーマ        | 授業内容                   |
|--------|------------|------------------------|
| 第1回    | 原稿を書く③     | フリーペーパー用の原稿を書く         |
| 第2回    | 素材集め①      | ラフに沿って、必要な画像素材等を集める    |
| 第3回    | 素材集め②      | ラフに沿って、必要な画像素材等を集める    |
| 第4回    | フリーペーパー作成① | illustratorでフリーペーパーを作成 |
| 第5回    | フリーペーパー作成② | illustratorでフリーペーパーを作成 |
| 第6回    | フリーペーパー作成③ | illustratorでフリーペーパーを作成 |
| 第7回    | フリーペーパー作成④ | illustratorでフリーペーパーを作成 |
| 第8回    | 課題提出による試験  | オリジナル・フリーペーパーを完成させ提出   |

学期末試験評価方法

第4クォーターでは、A4サイズ12頁のオリジナル・フリーペーパーを作成。

その内容で評価します。

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名     | 担当講師  |
|----|---------|-------|
| 春  | MTV制作 I | 山形 栄治 |

科目概要

音楽番組の制作の基礎知識

到達目標

音楽番組の構成、番組内コーナーのアイデア、企画の出し方を身につける。

授業計画

| 1クォーター | テーマ           | 授業内容                                     |
|--------|---------------|--|
| 第1回    | 音楽番組を作ろう！①    | 番組企画会議 番組スタッフ、チーム割り 役割分担の方法などをディスカッションする |
| 第2回    | 音楽番組を作ろう！②    | オープニングタイトル、ジングルなどの制作方法を学びます              |
| 第3回    | 音楽番組を作ろう！③    | 映像制作ソフトを使った制作方法を学びます。                    |
| 第4回    | 音楽番組を作ろう！④    | 演出方法、エフェクト、効果音、テロップの制作                   |
| 第5回    | 音楽番組を作ろう！⑤    | 撮影方法などカメラワーク及びディレクションを学びます。              |
| 第6回    | 音楽番組を作ろう！⑥    | 授業での制作物をまとめ番組企画プレゼン資料を制作                 |
| 第7回    | 番組企画プレゼン資料 提出 | 番組企画プレゼン資料 提出                            |

クォーター末試験評価方法

出席:20%、授業態度:20%、提出物:60%  
授業内で制作した作品及び企画書の提出

| 2クォーター | テーマ        | 授業内容                                     |
|--------|------------|--|
| 第1回    | 音楽番組を作ろう！① | 番組企画会議 番組スタッフ、チーム割り 役割分担の方法などをディスカッションする |
| 第2回    | 音楽番組を作ろう！② | コーナーミーティング                               |
| 第3回    | 音楽番組を作ろう！③ | 各自取材及び編集                                 |
| 第4回    | 音楽番組を作ろう！④ | スタジオ収録                                   |
| 第5回    | 音楽番組を作ろう！⑤ | 編集                                       |
| 第6回    | 音楽番組を作ろう！⑥ | 編集/MA・仕上げ/完成                             |
| 第7回    | 音楽番組を作ろう！⑦ | 課題提出                                     |
| 第8回    | 作品鑑賞       |  |

学期末試験評価方法

出席:20%、授業態度:20%、提出物:60%  
作品提出 ライブ収録した映像を編集し、アーティストの情報などの文字情報をいれて提出

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名      | 担当講師  |
|----|----------|-------|
| 秋  | MTV制作 II | 山形 栄治 |

科目概要

音楽番組の制作の基礎知識

到達目標

音楽番組の構成、番組内コーナーのアイデア、企画の出し方を身につける。

授業計画

| 3クォーター | テーマ        | 授業内容                       |
|--------|------------|----------------------------|
| 第1回    | 音楽番組を作ろう！① | 3Q課題 Pick UP (音楽ジャンル)企画・構成 |
| 第2回    | 音楽番組を作ろう！② | 取材・台本制作                    |
| 第3回    | 音楽番組を作ろう！③ | 撮影・編集                      |
| 第4回    | 音楽番組を作ろう！④ | 撮影・編集                      |
| 第5回    | 音楽番組を作ろう！⑤ | 撮影・編集                      |
| 第6回    | 音楽番組を作ろう！⑥ | 編集/MA・仕上げ/完成               |
| 第7回    | 課題提出       |                            |

クォーター末試験評価方法

出席:20%、授業態度:20%、提出物:60%  
授業内で制作した作品及び企画書の提出

| 4クォーター | テーマ        | 授業内容                |
|--------|------------|---------------------|
| 第1回    | 音楽番組を作ろう！① | 4Q課題 Pick UP アーティスト |
| 第2回    | 音楽番組を作ろう！② | 取材・台本制作             |
| 第3回    | 音楽番組を作ろう！③ | 撮影・編集               |
| 第4回    | 音楽番組を作ろう！④ | 撮影・編集               |
| 第5回    | 音楽番組を作ろう！⑤ | 撮影・編集               |
| 第6回    | 音楽番組を作ろう！⑥ | 編集/MA・仕上げ           |
| 第7回    | 音楽番組を作ろう！⑦ | 編集/MA・仕上げ/完成        |
| 第8回    | 作品鑑賞       |                     |

学期末試験評価方法

出席:30%、授業態度:30%、提出物:40%  
作品提出・実技 インターネットを使って番組のライブ配信を行う

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名    | 担当講師  |
|----|--------|-------|
| 春  | 日本のA&R | 富澤 一誠 |

科目概要

1960年代初頭にアメリカのコンテンポラリー・フォークが日本に入ってきてから、日本にもフォーク・ムーブメントが起こった。始めは大学生たちがコピーを始め、やがてオリジナル曲が生まれた。そして吉田拓郎が出現してブームとなり、ミュージックシーンの大きな流れとなる。ニューミュージックがビジネスとなるまでのプロセスを学ぶ。

到達目標

音楽の歴史を知ること、ミュージック・シーンの今後を、予測できるプロデュース力を身につける。

授業計画

| 1クォーター | テーマ                 | 授業内容                         |
|--------|---------------------|------------------------------|
| 第1回    | アメリカン・コンテンポラリー・フォーク | キングストン・トリオがもたらしたもの           |
| 第2回    | カレッジ・フォーク           | 関東の学生たちがコピーを始める              |
| 第3回    | 関西フォーク              | 高石ともや、岡林信康がオリジナルを作り始める       |
| 第4回    | フォーク・ムーブメント         | 吉田拓郎の出現でブームが始まる              |
| 第5回    | 叙情派フォーク             | かぐや姫、井上陽水などがヒットをとばす          |
| 第6回    | 黄金のフォーク・ブーム         | 山本コータローとウィークエンド、グレープ、ふきのとうなど |
| 第7回    | 理解の確認<br>レポート提出     | カレッジ・フォーク、関西フォーク、フォーク・ブームの総括 |

クォーター末試験評価方法

レポート評価。出席率。そして発言の積極性。

| 2クォーター | テーマ             | 授業内容                         |
|--------|-----------------|------------------------------|
| 第1回    | 変革期             | フォーライフ・レコード設立                |
| 第2回    | 変革期             | つま恋6万人コンサート                  |
| 第3回    | ニューミュージック       | ユーマンの台頭                      |
| 第4回    | ニューミュージック第3世代   | 原田真二、Char、ツイスト、渡辺真知子など       |
| 第5回    | 歌の甲子園“ポップコン”    | 中島みゆきなどポップコン全盛期              |
| 第6回    | 叙情派フォーク復活       | 松山千春、長渕剛の台頭                  |
| 第7回    | CMとニューミュージック    | CMタイアップからヒット連発               |
| 第8回    | 理解の確認<br>レポート提出 | フォークからニューミュージックへという大きな流れの再確認 |

学期末試験評価方法

レポート評価。出席率。そして発言の積極性。

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名    | 担当講師  |
|----|--------|-------|
| 秋  | 日本のA&R | 富澤 一誠 |

科目概要

ニューミュージックとなりミュージック・ビジネスの主流の一角を占めるようになる。80年代に入って、ポップス・ブーム、バンド・ブームを経て、90年代に入るとさらに歌のルネッサンスが起こり、やがてR&B、ダンスミュージック・ブームとなる。そして、テクノ、ヒップホップ、あらゆるジャンルがそろい百花繚乱となって現在に至っている。

到達目標

音楽の歴史を知ること、ミュージック・シーンの今後を、予測できるプロデュース力を身につける。

授業計画

| 3クォーター | テーマ             | 授業内容                             |
|--------|-----------------|----------------------------------|
| 第1回    | ニュー・ウェーブ        | RCサクセション、シーナ&ロケット台頭              |
| 第2回    | テクノ・ポップ         | YMOの台頭からテクノ・ブーム                  |
| 第3回    | 第3期女性シンガー・ブーム   | 歌心を大切にしようという流れ                   |
| 第4回    | 女性ロッカー          | 白井貴子、中村あゆみ、渡辺美里の台頭               |
| 第5回    | レディーズ・バンド       | レベッカ、プリンセス・プリンセスなど               |
| 第6回    | バンド・ブーム         | Boφwyをきっかけに空前のバンド・ブームに           |
| 第7回    | 理解の確認<br>レポート提出 | ニュー・ウェーブ、テクノ・ポップ・ブームから本格的なロック時代へ |

クォーター末試験評価方法

レポート評価。出席率。そして発言の積極性。

| 4クォーター | テーマ             | 授業内容                                       |
|--------|-----------------|--|
| 第1回    | 歌のルネッサンス        | KAN「愛は勝つ」から流れが変わる                          |
| 第2回    | 歌もの復活           | 小田和正「ラブ・ストーリーは突然に」、CHAGE&ASKA「SAY YES」大ヒット |
| 第3回    | ビーイング系ブーム       | ZARD、WANDSなどヒット連発                          |
| 第4回    | 小室系ブーム          | TRF、安室奈美恵、華原朋美などブレイク                       |
| 第5回    | ジャパニーズR&Bブーム    | MISIA、宇多田ヒカル、平井賢など台頭                       |
| 第6回    | ダンス・ミュージック・ブーム  | エイベックス系アーティストの台頭                           |
| 第7回    | Jヒップホップ・ブーム     | 空前のヒップホップ・ブーム到来                            |
| 第8回    | 理解の確認<br>レポート提出 | あらゆるジャンルが出つくした感のあるミュージック・シーンの今後の展開は？       |

学期末試験評価方法

レポート評価。出席率。そして発言の積極性。

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名   | 担当講師 |
|----|-------|------|
| 春  | 就職ゼミⅡ | 西川典彦 |

科目概要

内定獲得に向け、実践的な対策を進める。  
知識やスキルは、1年次の「就職ゼミⅠ」で学んだことを基に、各自が向上させていくことが重要。  
成績は内定状況に応じて評価する。

到達目標

内定の獲得。

授業計画

| 1クォーター | テーマ                | 授業内容  |
|--------|--------------------|---|
| 第1回    | (4月中旬) 仕事をする意識     | 就職はゴールではなく、スタートに立つこと。<br>何のために就職したいのか、自分の意識を確認する。             |
| 第2回    | (4月下旬) エントリーをすすめよう | 頭で考えているだけでは内定は獲得できない。<br>具体的にエントリーを進めていく。                     |
| 第3回    | (5月上旬) 志望動機①       | エントリーが済むと、次は履歴書など、応募書類が必要になる。<br>一番重要になる志望動機を、あらためて確認する。      |
| 第4回    | (5月中旬) 自己PR        | 他の応募者ではなく、自分が選ばれる理由は何か？<br>企業が選びたい自己PRを考える。                   |
| 第5回    | (5月下旬) 志望動機②       | 第3回で考えた志望動機が、自分のものになっているか？<br>検証を加えながら、応用範囲を広げる               |
| 第6回    | (5月末) 応募～面接のポイント   | 面接に向けた準備が出来ているか、確認。<br>1分間で自己PRが出来るかなどを実際に確認する。               |
| 第7回    | (6月上旬) 面接に向けて      | 大手企業でも面接が解禁になり、早いところでは内定も出始める。<br>面接を受ける準備、そのための応募が出来ているかも確認。 |

クォーター末試験評価方法

応募状況、内定状況によって評価。

| 2クォーター | テーマ              | 授業内容  |
|--------|------------------|---|
| 第1回    | (6月中旬) 求人状況など確認  | 大手企業の面接が進む間、中小企業の最新状況などを確認して<br>応募を増やし、内定のチャンスを増やす。             |
| 第2回    | (6月下旬) 再度、自己分析   | 応募や面接の、最初の結果が出始める時期。<br>これまでうまくいかなかったポイントは何か？自己分析を行う。           |
| 第3回    | (7月初旬) 夏休みに向けて   | 夏休みも、就活には重要な山場。これまでとは違う業種の企業に<br>応募したり、改めて説明会やインターンに参加してみる。     |
| 第4回    | (7月上旬) 夏休みの予定    | 夏休み期間中に、何をすべきかスケジュールを組み立てる。<br>説明会、インターン、免許取得など、具体的なタスクをリストアップ。 |
| 第5回    | (7月中旬) これまでをおさらい | 夏休みを有効に使うために、これまでをおさらい。<br>自分の志望動機や自己PR、面接のポイント、スケジュールを確認。      |
| 第6回    | (8月下旬) 秋に向けて     | 大学生の就活は、ほぼ終盤。内定辞退者が出るため、<br>追加求人が出始める。チャンスを逃さないために何をすべきか。       |
| 第7回    | (9月初旬) 仕事をする意識   | 内定者も、就活生も、春にもどって、もう一度、自分に問いかける。<br>何のために就職するのか、自分にとって仕事とは何か？    |
| 第8回    | (9月上旬) 期末考課      | 応募状況、内定状況を報告。<br>報告内容によって成績を決定する。                               |

学期末試験評価方法

応募状況、内定状況によって評価。  
SA=内定獲得、A=面接2社以上、またはインターン・見極め研修合計10日以上、  
B=応募(履歴書送付)企業7社以上、それ以外はC評価(卒業後の進路未定とみなす)

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名       | 担当講師 |
|----|-----------|------|
| 春  | 著作権ビジネス I | 松山 誠 |

科目概要

2年次の1 & 2クォーターにおいては、1年次の3 & 4クォーターに引き続き「ビジネス著作権検定資格<初級>」の資格取得を目標に、音楽だけにとどまらず、著作権一般の知識の習得を目指します。試験実施は7月最終授業時を予定しています。

到達目標

全員合格を目標とする

授業計画

| 1クォーター | テーマ     | 授業内容        |
|--------|---------|-------------|
| 第1回    | 模擬テスト   | 模擬テスト(2)    |
| 第2回    | 模擬テスト解説 | 模擬テスト(2)の解説 |
| 第3回    | 模擬テスト   | 模擬テスト(3)    |
| 第4回    | 模擬テスト解説 | 模擬テスト(3)の解説 |
| 第5回    | 過去問題    | 過去問題(1)     |
| 第6回    | 過去問題    | 過去問題(1)の解説  |
| 第7回    | 過去問題    | 過去問題(2)     |

クォーター末試験評価方法

レポート100%、但し、欠席一回につき5点を減点

| 2クォーター | テーマ       | 授業内容           |
|--------|-----------|----------------|
| 第1回    | 過去問題(2)解説 | 過去問題(2)の解説     |
| 第2回    | 過去問題(3)   | 過去問題(3)        |
| 第3回    | 過去問題解説    | 過去問題(3)の解説     |
| 第4回    | 過去問題(4)   | 過去問題(4)        |
| 第5回    | 過去問題解説    | 過去問題(4)の解説     |
| 第6回    | 総復習(1)    | 総復習(1)         |
| 第7回    | 総復習(2)    | 総復習(2)         |
| 第8回    | 資格取得試験    | ビジネス著作権検定 初級試験 |

学期末試験評価方法

筆記試験により評価します。

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名      | 担当講師 |
|----|----------|------|
| 秋  | 著作権ビジネスⅡ | 松山 誠 |

科目概要

ユニクロはTシャツを売ったところでそのビジネスが終わります。ところがCDは売れた時点からビジネスが始まるのです。即ちCDは著作権他の権利の集合体なので、著作権法や契約の定めるところに従い、しかるべき権利者に正当な分配が終わるまでビジネスは完結しません。独特なビジネス構造を理解しないかぎり音楽業界で働くことは困難です。その構造を分かり易く講義し理解してもらいます。

到達目標

外国曲と邦楽曲の取り扱いの差異が理解できる  
 翻訳や逆カバーの仕組みを理解できる  
 映画・CM・放送における音楽利用の仕組みを理解できる

授業計画

| 3クォーター | テーマ            | 授業内容   |
|--------|----------------|--|
| 第1回    | 音楽産業の基本構造と権利関係 | デビューするとき交わす3種類の契約。シンガーソングライターが持つ3つの権利。CDは著作権と2つの著作隣接権の三層構造 |
| 第2回    | JASRACと著作権     | JASRACって何するところ？音楽著作権の根幹をなす著作権とその管理団体JASRACをその成立のいきさつから理解する |
| 第3回    | 音楽出版社の役割その1    | 本を出さないのに何故音楽出版社というの？レコード業界の陰の主役音楽出版社の歴史をたどりその役割を学ぶ         |
| 第4回    | 音楽出版社の役割その2    | 原盤って何？レコード業界の表の主役レコード会社が制作する原盤を理解しながらレコード製作者の著作隣接権を学ぶ      |
| 第5回    | 音楽出版社の役割その3    | 原盤って何？レコード業界の表の主役レコード会社が制作する原盤を理解しながらレコード製作者の著作隣接権を学ぶ      |
| 第6回    | 再販制度と著作権(独禁法)  | なぜCDは自由主義経済では例外である再販商品に指定されているのか？を理解する                     |
| 第7回    | 理解の確認          | クォーター末試験   |

クォーター末試験評価方法

原盤と出版、再販制度、ジャスラックなど、音楽業界での必須用語を正確に力できているか？  
 レポート100%、但し、欠席一回につき5点を減点

| 4クォーター | テーマ                | 授業内容  |
|--------|--------------------|---|
| 第1回    | 貸しレコードの歴史と私的複製権    | 日本独自のビジネス形態である貸しレの背景と実際と私的録音行為の範囲を学ぶ                        |
| 第2回    | 過去問題               | 著作権以外の権利(CDのジャケット写真とグッズ販売)の実際。会場で売られるグッズ等にはどのような権利が付与されているか |
| 第3回    | 外国曲の著作権            | 外国曲を使用するのも国内曲と同じ？邦楽曲と外国曲で異なる取り扱いを学ぶ                         |
| 第4回    | 適法訳詞と著作権           | 他人の楽曲を訳するのは自由？外国曲を日本語に訳す場合の注意点を理解する                         |
| 第5回    | 映画音楽と著作権           | 映画で音楽を使用するにあたっての注意点は？映画への音楽使用にあたりオリジナルと既成曲を使うに際しての差異を学ぶ     |
| 第6回    | 総復習                | CMIに音楽を使うにあたっての権利処理はどうする？CMへの音楽使用にあたりオリジナルと既成曲を使うに際しての差異を学ぶ |
| 第7回    | 実演家・レコード製作者と貸しレコード | 貸しレコードで使用するレコードの音源の使用料はどうなっているのか？貸しレコードで使用する音楽とその使用料の実際を学ぶ  |
| 第8回    | 理解の確認              | 著作権についてのペーパーテスト   |

学期末試験評価方法

筆記試験の点数を100点として欠席一回につき5点を減点



ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名 | 担当講師  |
|----|-----|-------|
| 春  | 発想法 | 河内山信一 |

科目概要

音楽ビジネスの世界では新しいアイデアが常に求められており、アイデアの発想力を身に付けることが、新たなものを生み出すことができる必要条件となります。頭の中に散らばっている漠然としたイメージを具現化し、創造的なアイデアを生み出す方法や、問題解決の糸口を見つけるための様々な方法を学びます。主にインプットを重視し、柔軟な頭を持ち、複数の発想法を知ることを目的とします。

到達目標

様々な発想法を身につける。

授業計画

| 1クォーター | テーマ             | 授業内容   |
|--------|-----------------|--|
| 第1回    | 発想とは？           | 発想とは何かを考える   |
| 第2回    | 発想のための準備        | 柔軟な発想ができるための頭の体操                                       |
| 第3回    | アウトプットのためのインプット | 何のためのインプットか。どうやってインプットするのか。また、アウトプットはどうするのかを考え学ぶ。      |
| 第4回    | 発想法1            | 「アイデアを無秩序に出して、発想していく方法」ブレインストーミング他を理解し、実際に演習する         |
| 第5回    | 発想法2            | 「アイデアを書き、分類することによってアイデアを発想」KJ法を理解し、実際に演習する             |
| 第6回    | 発想法3            | 「アイデアが詰まるまで繰り返し発想する方法」マンダラート他を理解し、実際に演習する              |
| 第7回    | 発想法4            | 「チェックリストを活用して、アイデアを強制的に促す方法」オズボーンのチェックリスト他を理解し、実際に演習する |

クォーター末試験評価方法

出席点＋インプット課題の提出

| 2クォーター | テーマ            | 授業内容                                     |
|--------|----------------|--|
| 第1回    | ロジカルシンキング      | ロジカルシンキングを理解し、実際に演習する(MECE)              |
| 第2回    | 発想法5           | 「似た例を見つけて、それを元に発想する方法」NM法を理解し、実際に演習する    |
| 第3回    | 発想法6           | 「文章化することでアイデアを発想していく方法」PREP法を理解し、実際に演習する |
| 第4回    | 発想法7           | 「マーケティングの4P」から発想する4Pを理解し、実際に演習する         |
| 第5回    | ターゲットインサイトについて | 誰に必要とされているのか、ターゲットはどのように考え行動するのか学ぶ       |
| 第6回    | 発想法8           | その他発想法を理解し、実際に演習する                       |
| 第7回    | 発想法9           | その他発想法を理解し、実際に演習する                       |
| 第8回    | 筆記試験           | 学期末試験                                    |

学期末試験評価方法

◎出席点・・・45点(3点/1回)

◎課題レポート・・・40点(1回 20点)

※2点×10項目×半期2回提出 項目×半期2回提出 ※クォーター毎提出

◎期末試験・・・15点

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名 | 担当講師  |
|----|-----|-------|
| 秋  | 発想法 | 河内山信一 |

科目概要

音楽に関する現在のビジネスを知ること、世の中のトレンドを学び、前期で学んだ新しいものを生み出す創造力に必要なスキルとしての様々な発想法を駆使して、論理的思考による認知的能力と創造的なビジネスマインドを持って実際にアイデアを生み出すことを目指す。主アウトプットの仕方を学びます。

到達目標

ビジネスマインドをもってアイデアを生み出す。

授業計画

| 3クォーター | テーマ         | 授業内容                            |
|--------|-------------|---------------------------------|
| 第1回    | 音楽ビジネスのトレンド | インプットとして音楽ビジネスのトレンド(リアル)を知り、考える |
| 第2回    | 音楽ビジネスのトレンド | インプットとして音楽ビジネスのトレンド(Web)を知り、考える |
| 第3回    | ターゲットを考える   | あるターゲットについて想像する                 |
| 第4回    | ニーズを考える     | 前回考えたターゲットのニーズとは何かを想像する         |
| 第5回    | ソリューションを考える | 前回考えたターゲットに対してのソリューションを創造する     |
| 第6回    | 発想から発表へ     | 発表の方法を学び、実践する                   |
| 第7回    | プロの発想法を知る   | プロの発想法について知る(ゲスト)               |

クォーター末試験評価方法

出席点+インプット課題の提出

| 4クォーター | テーマ          | 授業内容                                  |
|--------|--------------|---------------------------------------|
| 第1回    | 実際の音楽ビジネスを聞く | インプット: 実際音楽ビジネスの実践者から話を聞く(リアル・企業)     |
| 第2回    | 実際の音楽ビジネスを聞く | インプット: 実際音楽ビジネスの実践者から話を聞く(リアル・Web)    |
| 第3回    | 実際の音楽ビジネスを聞く | インプット: 実際音楽ビジネスの実践者から話を聞く(リアル・非営利モデル) |
| 第4回    | ビジネスモデルキャンパス | ビジネスモデルキャンパスを使った既存のビジネスの構造を理解する       |
| 第5回    | ビジネスモデルキャンパス | ビジネスモデルキャンパスを使った既存のビジネスの構造を理解する       |
| 第6回    | ピクト図解        | ピクト図解を理解してビジネスモデルを図解で説明する             |
| 第7回    | 総括           | 発想法と問題解決スキルとビジネスマインド                  |
| 第8回    | 筆記試験         | 学期末試験                                 |

学期末試験評価方法

◎出席点・・・45点(3点/1回)

◎課題レポート・・・40点(1回20点)

※2点×10項目×半期2回提出 項目×半期2回提出 ※クォータ毎提出

◎期末試験・・・15点

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名        | 担当講師 |
|----|------------|------|
| 春  | ファンクラブビジネス | 伊藤緑  |

科目概要

ファンを増やすための工夫。ファンに提供するサービスや商品などについて学ぶ。また、実際にノベルティに作ることで、商品を作ることを学ぶ。

到達目標

ファンを増やすための工夫ができるようになること。また、ファンの人に喜んでもらえる商品をデザイン、発注、納品までの流れを知ること。

授業計画

| 1クォーター | テーマ                               | 授業内容                           |
|--------|-----------------------------------|--------------------------------|
| 第1回    | この講義で学ぶこと。<br>ファンクラブとは何かについて考える   | ファンになるきっかけについて考える。ノベルティについて考える |
| 第2回    | 自分たちがこれまでに手にした<br>ファンクラブグッズについて話す | どんなものが喜ばれるかを考える。               |
| 第3回    | ものの名前の付け方、<br>デザインの権利について学ぶ       | 使ってはいけない表記や色、デザインについて知る。       |
| 第4回    | 何を制作するかを話し合う。プレスト                 | 何を作りたいかをグループで考える               |
| 第5回    | 色の決め方、見積書や請求書の見方を学ぶ               | いくつか候補を絞る                      |
| 第6回    | 予算、色数の制限のなかでデザインをする               | 見積もりを取り、デザインを開始する              |
| 第7回    | 予算、色数の制限のなかでデザインをする               | 各自デザインしたもののクオリティを評価            |

クォーター末試験評価方法

ノベルティとして制作するもののデザインをすることで、制限のあるなかでの制作について知ることを目標とする。

| 2クォーター | テーマ                 | 授業内容                                       |
|--------|---------------------|--|
| 第1回    | 予算、色数の制限のなかでデザインをする | 各自デザインしたもののクオリティを評価                        |
| 第2回    | 予算、色数の制限のなかでデザインをする | 各自デザインしたもののクオリティを評価                        |
| 第3回    | デザイン決定              | 各自デザインしたもののクオリティを評価                        |
| 第4回    | 完成したノベルティの配布先を考えてみる | ノベルティをどこにもっていくかを考えてみる。                     |
| 第5回    | SNSの使ったファンの増やし方     | ファンを増やすために使うSNSの使い方を考える                    |
| 第6回    | 自分自身を知る(就活のために)     | 自分自身について考え、これまで考えていた仕事を別の強みがないかを考えてみる。     |
| 第7回    | 自分のファンをつける(就活のために)  | できると思われるための自分の強み、ファンの作り方を考える。<br>弱みを強みに変える |
| 第8回    | 自己PRを書く             | 自分について、再度改めて考えたことを文字にしてみる。                 |

学期末試験評価方法

実際の物を作ることで、目に見えないファンを増やすということをそれぞれ考え、ファンを増やしていくことを知る。間口が広がった現在だから見えることを改めて考えてみる。

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名           | 担当講師   |
|----|---------------|--------|
| 春  | コンサートプロデュース I | 竹之内 康弘 |

科目概要

ホールコンサートというものの解釈から概要を理解し、現存しているコンサートを考察し、その役割などを分析。自分で実施する場合の企画に反映させる。  
 学期末の集大成として渋谷ライブハウスのイベントを成功させる。  
 ※コンサート実施に向けて動くため別途年間スケジュールを渡します。

到達目標

渋谷O-Crestでの学科ライブを成功させる。  
 動員目標の達成。

授業計画

| 1クォーター | テーマ         | 授業内容                 |
|--------|-------------|----------------------|
| 第1回    | 情報を入手する     | 企画性を高めるために           |
| 第2回    | コンサートスタッフ   | どんな役割の人が何をするのか       |
| 第3回    | 宣伝を考える      | チケット完売のための努力         |
| 第4回    | トラブル想定      | 現場で起こりうるトラブルを想定してみよう |
| 第5回    | 対策と予防       | トラブル起きた場合と未然に防ぐには    |
| 第6回    | 既存のコンサートの特徴 | 存在してるコンサートを研究し、企画に反映 |
| 第7回    | 筆記試験        |                      |

クォーター末試験評価方法

出席・受講態度(積極性)を重視

| 2クォーター | テーマ          | 授業内容                    |
|--------|--------------|-------------------------|
| 第1回    | 時代を読む        | 動員のために時代を読む感性を養う        |
| 第2回    | イベント・コンサートとは | コンサートの持つ意味合いを考える        |
| 第3回    | オリジナル音楽イベント  | 独自性、共感・真似したくなるような、各企画戦略 |
| 第4回    | ライブからコンサートへ  | ステップアップを考える             |
| 第5回    | 企画性について      | ターゲティング、企画のポイントを絞る      |
| 第6回    | 企画書          | 1枚の企画書を作って見みましょう        |
| 第7回    | 企画発表         | サンプル企画についてみんなでディスカッション  |
| 第8回    | レポート課題       |                         |

学期末試験評価方法

出席・受講態度(積極性)を重視  
 学内・学外コミュニケーション能力を問います。  
 イベント開催への積極的な関わり、集客への考え方を評価します。

ミュージックビジネス学科

| 学期 | 科目名          | 担当講師   |
|----|--------------|--------|
| 秋  | コンサートプロデュースⅡ | 竹之内 康弘 |

科目概要

ホールコンサートというものの解釈から概要を理解し、現存しているコンサートを考察し、その役割などを分析。

自分で実施する場合の企画に反映させる。

学期末の集大成として渋谷ライブハウスのイベントを成功させる。

到達目標

渋谷W.W.Wでの卒業制作ライブの運営。

コンサートについての論文作成。

授業計画

| 3クォーター | テーマ         | 授業内容                   |
|--------|-------------|------------------------|
| 第1回    | コンサート企画     | 自分の好きな企画を作ってみよう        |
| 第2回    | 出演交渉        | 出演オファーの具体例             |
| 第3回    | ホール研究       | 東京およびその周辺にあるコンサートホール研究 |
| 第4回    | コンサート研究     | 全国のFesなどを分析            |
| 第5回    | 独自の企画立案     | ホールの特性を充分考慮して、プラン      |
| 第6回    | コンサート企画プレゼン | プレゼン能力とは               |
| 第7回    | 筆記試験        |                        |

クォーター末試験評価方法

出席・受講態度(積極性)を重視

| 4クォーター | テーマ         | 授業内容                      |
|--------|-------------|---------------------------|
| 第1回    | 企画ディスカッション  | プレゼンを受けて質問や疑問点を企画者に問う     |
| 第2回    | コンサートプラン決定  | 投票と主張によりメインプランを決定         |
| 第3回    | コンサート企画決定   | 実施企画会議 スタッフ編成             |
| 第4回    | コンサート実施要綱1  | 実施企画会議 宣伝プラン              |
| 第5回    | コンサート実施要綱2  | 実施企画会議 集客プラン              |
| 第6回    | コンサート実施要綱作成 | 進行台本からセット図、機材リスト、タイムテーブル等 |
| 第7回    | コンサート実施     | 企画立案、展開を考えたコンサートの開催       |
| 第8回    | レポート課題      |                           |

学期末試験評価方法

出席・受講態度(積極性)を重視

学内・学外コミュニケーション能力を問います。

イベント開催への積極的な関わり、集客への考え方を評価します。